# 2008年 県決定 温泉津元湯泉薬湯 諸事項

## 温泉の成分、適応症・禁忌症及び入浴上の注意

### 成　　分

1　源泉名　　元湯温泉

2　泉　質　　ナトリウム―塩化物泉
（低張性中性高温泉）

3　泉　温　　源　　泉　　４９．７℃
使用位置　　４６℃～４０℃

4　温泉の成分（本水１kg中に含有する成分及び分量）

（イ）陽イオン　　（ロ）陰イオン

| 成　分 | ミリグラム | 成　分 | ミリグラム |
|---|---|---|---|
| リチウムイオン($Li^+$) | 2.4 | フッ素イオン($F^-$) | 1.1 |
| ナトリウムイオン($Na^+$) | 2020.0 | 塩素イオン($Cl^-$) | 3010.0 |
| カリウムイオン($K^+$) | 77.5 | 臭素イオン($Br^-$) | 11.9 |
| カルシウムイオン($Ca^{2+}$) | 467.0 | 炭酸水素イオン($HCO_3^-$) | 915.0 |
| マグネシウムイオン($Mg^{2+}$) | 89.2 | 硫酸イオン($SO_4^{2-}$) | 1050.0 |
| ストロンチウムイオン($Se^{2+}$) | 12.4 | 沃素イオン($I^-$) | 0.2 |
| マンガンイオン($Mn^{2+}$) | 0.5 | | |
| 鉄イオン($Fe^{2+}$+$Fe^{3+}$) | 3.6 | | |
| | | | |
| | | | |
| 陽イオン計 | 2672.6 | 陰イオン計 | 4988.2 |

（ハ）遊離成分

非解離成分　　溶存ガス成分

| 成　分 | ミリグラム | 成　分 | ミリグラム |
|---|---|---|---|
| メタ亜ヒ酸($HA_sO_2$) | 2.2 | 遊離二酸化炭素($CO_2$) | 285.0 |
| メタケイ酸($H_2SiO_3$) | 127.0 | 遊離硫化水素($H_2S$) | 0.0 |
| メタホウ酸($HBO_2$) | 45.7 | | |
| 非解離成分計 | 174.9 | 溶存ガス成分計 | 285.0 |

溶存物質（ガス性のものを除く）7.84g/kg　　成分総計（イ＋ロ＋ハ）8.12g/kg

（ニ）その他の微量成分

| 成　分 | ミリグラム | 成　分 | ミリグラム |
|---|---|---|---|
| バリウムイオン($Ba^{2+}$) | 0.06 | 鉛イオン($Pb^{2+}$) | 0.063 |
| アルミニウムイオン($Al^{3+}$) | 0.03 | 総砒素(Asとして) | 1.53 |
| 銅イオン($Cu^{2+}$) | 検出せず(0.005) | 炭酸イオン($CO_3^{2-}$) | 検出せず(0.1) |
| 亜鉛イオン($Zn^{2+}$) | 0.081 | チオ酸イオン($S_2O_3^{2-}$) | 検出せず(0.01) |
| カドミウムイオン($Cd^{2+}$) | 0.001 | 硫酸水素イオン($HSO_4^-$) | 0.03 |
| 総水銀(Hgとして) | 検出せず(0.0005) | | |

### 適応症・禁忌症及び入浴上の注意

1．浴用適応症

神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、
関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、
冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進、きりきず、
やけど、慢性皮膚病、虚弱児童、慢性婦人病、動脈硬化症

2．浴用禁忌症

急性疾患（特に熱のある場合）、活動性結核、悪性腫瘍、
重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、
その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中（特に初期と末期）

3．入浴上の注意事項

ア　温泉療養を始める場合は、最初の数日の入浴回数は１日当たり１回程度とすること。その後は１日当たり２回ないし３回までとすること。

イ　温泉療養のための必要期間は、おおむね２ないし３週間を適当とすること。

ウ　温泉療養開始後おおむね３日ないし１週間前後に湯あたり（湯さわり又は浴場反応）が現れることがある。「湯あたり」の間は、入浴回数を減じまたは入浴を中止、湯あたり症状の回復を待つこと。

エ　入浴時間は、入浴温度により異なるが、初めは３分ないし１０分程度とし、慣れるにしたがって延長してもよいこと。

オ　入浴中は、運動浴の場合は別として一般には安静を守ること。

カ　入浴後は、身体に付着した温泉の成分を水で洗い流さないこと（湯ただれをおこしやすい人は逆に浴後真水で身体を洗うか、温泉成分をふき取るのがよい。）

キ　入浴後は湯冷めに注意して一定時間安静を守ること。

ク　次の疾患については、原則として高温浴（４２℃以上）を禁忌とすること。

・高度の動脈硬化症　・高血圧症　・心臓病

ケ　熱い温泉に急に入ると、めまい等を起こすことがあるので十分注意すること。

コ　食事の直前、直後の入浴は避けることが望ましいこと。飲酒しての入浴は特に注意すること。

サ　飲用はしないこと。

温泉成分の分析年月日　　平成２０年　７月２５日

適応症・禁忌症等決定年月日　平成２０年８月２０日

登録分析機関　（名　　称）財団法人　島根県環境保健公社
（登録番号）島根県　　第２号

決　定　者　　島　　根　　県

2012. 6. 3,000